

子連だより

No. 129



子どもの手にも子どもが 主役の子ども会づくりを

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 会長 須田 貴子

日頃より子ども会活動に格段のご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、平成から令和へと元号が切り替わる節目の大型連休はどのように過ごされましたか。長い休みに何をしようか考えていたところ、放課後の居場所づくりを行っている団体が全国の小学一年生から六年生までの一〇〇〇人に「放課後や夏休みに何をやりたいか」を調査したアンケートを見つめました。アンケート結果の一位から四位までがサッカー・ドッジボール・鬼ごっこ・縄跳びと、昔からの遊びと変わらない内容でしたが、五番目の回答に「ない」「わからない」「どうでもいい」とするものが多かったそうです。「休みになったら、どんなことをして遊ぶうか」と昔はワクワクしながら考えたものですが、四位までの回答には「友だちとサッカーがしたい」「みんなで鬼ごっこがしたい」など、四人に一人の割合で何をしたいかに関わらず「友達と」「や」「みんなで」などのキーワードが入っていたそうです。

同時に、児童書を扱うアメリカの企業が全土に行った読書に関する調査の記事を見つけました。それには、八歳児の五十七%が週五日以上読書を楽しんでるのに対し、九歳児になると三十五%に減少。八歳児の四〇%が読書は大好きだと言うのに対し、九歳児になると二十八%に減少しているとした調査結果でした。子どもが字を読めるようになると寝る前に子どもに本を読んでもあげると寝る前に子どもに本を読んでもあげると寝る前に子どもに本が私にもあります。小学校中学年ともなると色々な選択肢も出てきますが、大人との関りが少なからず関係しているのかもしれない。

昨今の青少年を取り巻く環境は、少子化による異年齢交流や自然体験・生活体験の不足、連帯感や協調性の欠如、困難を乗り越える力の低下などが指摘されるなど厳しいものがあります。平成の象徴ともいえる、スマホ等の普及による情報化社会の進展も新たなネットトラブル等の問題を引き起こしています。こうした社会の変化の中で遊びや交流を通じた子ども会としての存在意義が求められており、これからの時代を心豊かに生きるための夢や希望となる体験の機会と「何を・どのようにしたら・どうなるだろう」とした、読書や経験から得る創造して考える力の育成が不可欠になってきているのではないのでしょうか。

これからの夏に向けて子ども会活動も盛んになってまいります。子どもには「できない」と最初から決めつけるのではなく、チャレンジできる方法やヒントを見つけてあげるなど、育成者だけで考えるのではなく、安全に配慮しながら見守る側に徹し、子ども自身が友だちや地域のみんなと楽しめる活動とするため「みんなは何を・どうしたら楽しい活動にできるのか」を子どもとともに考える機会を作っていたら、これからの活動が楽しい思い出になるものにしていただきますよう、ご配慮の程よろしくお願い致します。

最後になりますが、少子高齢化する中で、子ども会の会員が減少する傾向も見られますが、子どもは地域の宝です。県子連といたしましても単位子ども会として登録いただいていない地域においても、子どもたちと関わり合いながら地域の皆様と力を合わせ、子どもの手による子どもが主役の子ども会づくりを推進して参りたいと思っております。そして、県内の子どもを支えたいと思う仲間とともに、子どもが心豊かにたくましく、他人の気持ちをも想像し思いやる心を育てる活動を展開し、安全で楽しい子ども会活動の推進に取り組み所存であります。次代を担う子どもたちを共に育むため、本年も一層のご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



体験は人を育てる力がある

新潟県少年自然の家 指導課長 佐藤 元

「家の中で、うじうじしていた僕が、こんな大勢の前でこうやってしゃべることができるようになったのだから、みんな大丈夫、安心して。絶対成長するから。」

学校や教室に行けない、行きづらいつと感じている児童生徒を対象とした『はつらつ体験塾』。年度最後のキャンプのお別れ会で、中学三年生のAさんが体験塾の卒業にあたり、後輩に送った言葉である。後輩たちは、食い入るように彼を見つめ、彼の一言一言に真剣に耳を傾けていた。はにかみながらも、自分の思いをなんとか伝えようとする彼の姿に心打たれ、会場にいた全員、涙を堪えるのに必死だった。

はつらつ体験塾

『はつらつ体験塾』は県自然の家で六回、国立妙高青少年自然の家で三回合計年九回行われる。基本は一日二回。また、日帰りのミニキャンプが年一回五頭連峰青少年自然の家で行われる。

- 野外レクリエーション
- クッキング
- マイフォーク作り

○キャンプファイア

○馬とのふれ合い体験

○力ヌー体験

○源流探検

○ナイトハイク

○そば打ち体験

○クラフト

○クリスマスケーキ作り

○もちつき

○どんど焼き

○雪灯籠作り

○沢登り

など、季節に応じた体験活動を取り入れている。

これらの体験活動や出会った友達、学生ボランティアとの共同宿泊体験とおして、社会性を高めたり自信を回復させたりすることをねらいとしている。

体験活動の影響

子どもたちは、集った仲間や学生ボランティアとさまざまな話をしながら、励まし励まされながら、一つ一つ体験メニューをこなしていく。その中で、困難を克服した達成感を味わったり、自分を表現することの難しさやお

もしろさを体感したり、みんなで協力することの難しさや大切さや楽しさを味わったりしながら、いろいろな角度から物事を考えられるようになっていく。また、仲間を気遣ったり、周囲のことを考えて行動したり、ピンチが訪れても自分で解決策を考えて乗り越えることができるようになっていく。そして、いつの間にか今までの自分とは少し違う自分を実感することができるのである。

自然体験やもの作り体験活動が子どもたちへ与える影響は大きいですが、学生ボランティアとの触れ合いも大きな影響を与えている。身近な人生の先輩からの声掛けや、励ましは、参加者の心に大きく響く。それは参加者の様子や感想からつかうことができる。

学生ボランティアの影響

「私は一生懸命勉強して大学に進学し、学生ボランティアとしてこの『はつらつ体験塾』に戻ってきたと思います。」と力強く宣言して旅立った参加者もいたほどである。

学生ボランティアも子どもたちから大きな影響を受けている。

「私は大学の看護学部に進学したが、目標を見いだせず、悩む日々が続いていた。しかし、このキャンプに参加して子どもたちと触れ合ううちに、自分の目標が見えてきた。将来は子どもたちの支えになる養護教諭になりたい。」と前述の会で発表した学生がいた。ボランティアとして参加したのに、いつの間にか子どもたちからたくさんのパワーをもらったり、いろいろなことを教えられたりしていることに気付いていく。

それにしても、学業、サークル活動、アルバイトと超多忙なものにもかかわらず、自分の時間を差し繰って、このキャンプに参加してくださる学生のみなさんに心から感謝したい。

最後に

新潟県少年自然の家は、今年度四月から施設が新しくなっただけでなく、正式に園児から社会人、そして高齢者と幅広い年齢層の方々に利用していただけになった。

「体験は人を育てる力がある」体験活動を提供する私たちはこのことを肝に銘じ、利用していただく一人一人にとってかけがえのない体験となるように力を尽くさねばならない。期待に胸を膨らませながら自然の家の扉を開けて入ってくる利用者のみなさんの顔を見る度に強く思う。



県子連総会・遊びのひろば阿賀野大会

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 副会長 近藤正利

一 開会式・表彰式について

白鳥の湖で知られる阿賀野市・瓢湖。令和、最初の県子連総会がご同市・水原公民館で、令和元年五月十九日に開催されました。

来賓として新潟県教育庁生涯学習推進課長・信田直樹様、阿賀野市教育委員会教育長・岩村弘一様、国立妙高青少年自然の家所長・星野孝様、県生涯学習課推進センター所長・長谷川明寿様、県少年自然の家所長・名古善晃様、新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課長・伊藤健文様に出席いただきました。総会に先立ち開会式典が開催され、初めに、子ども会に貢献された方が平成三十一年度中に、逝去されたという事で「黙祷」を捧げました。

開会のあいさつは須田貴子会長から、今年度に行なわれる「関フロ・静岡大会」に多くの皆さんから参加していただきたいこと、来年度には「新潟大会」が



あるので多くの方に参加・協力していただきたいとお話がありました。

表彰式がつづいて行われ、指導者・育成者の部二名、ジュニアリーダーの部八名、団体・単位子ども会の部から二団体が選ばれました。須田会長からそれぞれが表彰状を受け取り、会場にいる列席者から盛大な拍手が贈られました。

平成三十一年度の全国子ども会で表彰された方が2名紹介され、こちらも会場から大きな拍手をもらっていました。



そのあと、来賓である県生涯学習課長様と阿賀野市教育委員会教育長・岩村様からご祝辞をいただきました。つづいて来賓の方々が全員紹介されました。

最後に、指導者・育成者の部の受賞者である新発田市の八幡イウ様から、受賞者を代表して謝辞を述べていただきました。これまでいろいろと苦労してきたことや、また、その苦労が子どもたちによって救われたことなど、あ

たたかいお話をさせていただきました。表彰式を終えました。

二、総会について

総会も表彰式と同じ会場で行われ、議長選出から始まり、会場から「一任」という声がかかり、下越地区理事の濱田宏幸氏が選出されました。議長就任のあいさつのもとに定数の確認があり、本総会が成立する事を事務局から告げられました。



議案は、第一号議案「平成三十一年度の会務並びに事業報告について」、第二号議案「平成三十一年度の会計決算報告、監査報告について」、第三号議案「令和元年度県子連役員について」、第四号議案「令和元年度事業計画について」、第五号議案「令和元年度収支予算について」でした。以上の議案がすべて承認され、濱田議長が退任のあいさつをして議事を終了しました。



第です。

閉会の言葉は、次期総会開催地区の岡田政枝副会長から挨拶があり、総会が終了となりました。



三、子ども遊びの広場について

毎年、総会と同時開催になっており、今年の参加団体は、上越市柿崎、妙高市、柏崎市、三条市、長岡市、加茂市、見附市、新発田市、阿賀野市の以上の団体でした。地元の子どもたち・保護者の皆様に多数来場いただき、大盛況でした。たいへん喜んでもらうことができ、参加団体と来場者が一体となった楽しいイベントとなりました。

最後に、今年度は来賓・総会出席者にも観ていただきたいという事で、三十分早めて十二時からのスタートとしました。そのため参加団体の皆様には早朝からの準備をしていただき、ご苦労かけた事とさせていただきます。遠方から参加していただいた団体もいらっしやいます。感謝申し上げます。

上越地区

あらい祭り

高柳子ども会
五年 北神 柚花

私の地いきでは色々な行事が行われていますが、私が一番楽しみにしている行事は八月にあるあらい祭りです。旧新井市の多くの町内

が参加しています。初日は水合戦や屋台が出店し、にぎわっています。二日目の夜にはたくさんの人たちでみんな流しがあります。少し疲れるけど、その時の楽しみが、何回かある休けいの時に飲む冷えたおいしいジュースを友達と飲むことです。みんな流しでは町内で色々な山車を作っているのを見てみるのも楽しみです。私の町内では六年生とお父さん、お母さんが中心となって作ります。六年生になって作るのが今からとても楽しみです。



もまよってしまいますが、とてもにぎわっていて楽しいです。そして、他の町内で参加している友達もたくさんいるので、会って話をしたりしてもっと仲良くなります。色々な人と会って話しているうちに自分の心もにぎやかになります。おうちの人もたくさん参加して

いるので不安はぜんぜんありません。大人の人たちから「がんばってね」、「もう少しだからね」などのほげましの言葉がたくさんあるのががんばれます。みんな流しを見に来た人もたくさんいるので、その人たちも楽しんでもらえるようにはりきっておどります。小さい子もいっしょうけんめいおどっていてすごいなと思いましたが、このように最後はみんなが笑顔になれるのも楽しいお祭りです。だから、私が大きくなってからも、楽しいあらい祭りはいつまでもあってほしいし、もっともっと楽しくなっ

てほしいです。

中越地区

子ども会の思い出

見附市新町三丁目三区子ども会
五年 星野 優那

私が子ども会の行事で楽しかったことはたくさんあります。その中でも思い出に残ったことは二つあります。

まず、一つ目は町内親子レクです。五月に大平森林公園でバーベキューをしました。お肉を焼いたり、ワインナーを焼いたり、とても美味しかったです。友達とアスレチックやすべり台で遊んだり、ブランコもしました。

次に、みんなでEボートに乗りました。最初は、前に進まなかったけれど、かけ声をかけるといいよと教えてもらって、みんなで声を合わせたら前に進むようになった。ボートをこぐのは大変だったけど、景色が良くて、気持ち良かったです。

二つ目は、地区民運動会です。



私は、ムカデ競争に出ました。練習をたくさんしたけど、本番では上手に出来なくて、最後になったけど、あきらめずにみんなとゴールまでがんばりました。その後のお昼のお弁当がとても美味しかったです。応援もがんばりました。みんなで一生けん命にはたを振ったり、声を出して応援したので、応援賞をとることが出来ました。とてもうれしかったです。

私は、毎年子ども会の行事を楽しみにしています。これからも、たくさん行事に参加したいと思います。

下越地区

楽しかった
子ども会行事

燕市横田下郷屋子ども会
六年 酒井 煌輝

僕の住んでいる地域での活動は、春夏のクリーン作戦、横田祭り、クリスマス会、もちつき大会、歓送迎会があります。

僕が心に残っている活動は、横田祭りとクリスマス会です。

横田祭りでは、ハッピを着てみこしをかつぎ地域を回ります。途中で休憩したときにシユースがアイスがもらえます。友達と一緒にシユースを飲んだり、アイスを食べたりすることが楽しかったです。祭りの最後にはみんなで集合写真を撮ります。暑くてずっとみこしをかつぐのが大変だったけど、みんな「ワッショイ！ワッショイ！」



と声をかけ合いがんばることができました。

最近では、子どもの数が減ってきて今まで行っていた稚児舞い、神楽舞い、舞い込みなどの地域の伝統芸能が無くなってしまいました。そのことはとても楽しみにしていたので残念でした。

クリスマス会では、それぞれで持ち寄ったプレゼントをくじ引きで交換します。プレゼントの交換のときどんなプレゼントがもらえるかわくわくしました。

他にはビンゴ大会もします。景品にはいろいろなお菓しの詰め合わせがあります。ビンゴ大会のとき一番にたれなくてくやしかったです。お昼ご飯では、みんなで役員さんが用意してくれたご飯を食べます。最後の学年なので、地域の活動をしっかりと楽しみたいです。



佐渡地区

キャンプ体験

八幡小学校
六年 菊池 凌生

ぼくは、昨年度のキャンプで、初めておこなったものがたくさんあります。まず、潮津の里で行った事です。潮津の里で行った事で、ふだんはできない外でねるという体験ができました。つぎに、天体観そくです。ふだんは、アトラクションなどで星を見る時間はありませんでした。けれども昨年は、ゆったりと見る時間があったと思います。このことによって、星を見ると、ふだんは行かない活動ができました。最後に、防災教育をかねて行った、たけ包ごはんをたぐことです。たけ包ごはん、家の材料になったり、森林になったりと、ぼくたちの身近にあるものだと思います。その、身近にあるもので、必ず、生きていくには欠かせない、「ごはんをたぐ」ということができることに、おどろきました。だから、この経験を生かして、何かがあったときに、みんなで力を合わせて、いきたいです。



2019(令和元)年度 県子連運営基本方針・事業

1 県子連運営の基本方針

- ① 時代の要請の応える子ども会づくり
・子ども会の果たす役割や意義を理解し、地域にも広めよう。 ・広報活動等を通して、情報発信基地の役割を果たそう。
- ② 子どもの手による子ども会づくり
・地域の力を結集し、子どもが主役のドラマを創ろう。 ・子どもたちが自ら考え、工夫する場面をつくろう。
- ③ 指導者研修の充実
・安全啓発(子ども会KYT等)指導者研修会に進んで参加しよう。 ・ジュニア(シニア)・リーダー研修会に進んで参加しよう。
- ④ 県子連と市区町村子連の連携強化
・県子連の情報を市区町村子連に伝え、認識の共有化を図ろう。 ・市区町村子連代表(理事等)は、情報を確実に事務局に伝えよう。
- ⑤ 県子連役職員の行動規範の遵守
・職務の遂行に当たっては、県民及び会員の信頼を得られるよう一人一人が高い倫理観をもって行動しよう。

2 各指導部の重点項目

<総務部>	・加盟団体の会員拡大と未加入市町村の解消を図ろう。
<指導研修部>	・ジュニア・リーダー研修会を充実させ、青年指導者を育成しよう。
<安全部>	・安全啓発(子ども会KYT等)を活用して、安全な活動をすすめよう。
<広報部>	・県子連情報や地域子ども会の活動紹介を通して、魅力ある広報活動を推進しよう。
<リーダーズクラブ>	・リーダーズクラブ集会を開催し、組織化を図ろう。

3 県子連の主な事業

(1) 理事会開催について

		摘 要
第1回	期 日	令和元年6月2日(日)
	会 場	新潟市東区プラザ
	時 間	午前10時00分～午後3時00分
第2回	期 日	令和元年12月1日(日)
	会 場	長岡市中央公民館(さいわいプラザ)
	時 間	午前10時00分～午後3時00分
第3回	期 日	令和2年3月1日(日)
	会 場	新潟市東区プラザ
	時 間	午前10時00分～午後3時00分

(2) 「子どもの遊びのひろば」の開催について

- 【第1回目】第34回
ア 日 時 令和元年5月19日(日) 12:00～15:30
イ 会 場 阿賀野市立水原公民館
- 【第2回目】第35回
ア 日 時 令和元年11月4日(月) 11:00～15:00
イ 会 場 糸魚川市「きらら青海」
- 【第3回目】第36回 県民フォーラム
ア 日 時 令和元年11月10日(日)
イ 会 場 新潟県立生涯学習推進センター
ウ 「積み木コーナー」の開設、その他

(3) 地区別事業計画について

- ・責任者は地区代表(県子連副会長)です。

【令和元年度】→計画的に実施する

		総 会	子ども交歓大会
上越地区	期 日 会 場	5月25日(土) わくわくランドあらい	10月26日(土)～27日(日) 国立妙高青少年自然の家
中越地区	期 日 会 場	5月12日(日) 南魚沼市市民会館	10月27日(日) 見附市中央公民館
下越地区	期 日 会 場	4月21日(日) 阿賀野市水原公民館	8月9日(金)～10日(土) 新発田市(社会見学会)
佐渡地区	期 日 会 場	5月20日(月) 金井コミュニティセンター	12月7日(土)大縄跳び大会 サンテラ佐渡スーパーアリーナ

(4) 県子連ジュニア・リーダー中級研修会 <研修内容は予定です、変更もあり>

回数	摘 要	
1	期 日	令和元年6月29日(土)～30日(日)
	会 場	国立妙高青少年自然の家
	内 容	1 日 目 ・研修1 アイスプレーキングとレクリエーション ・研修2 子ども会活動の意義 ・研修3 子ども会活動の進め方 ・実習4 夕食づくりと夕食、片付け ・研修5 妙高の自然を学ぶ

		2 日 目	・研修6 安全啓発（救急法の実技1） ・研修7 安全啓発（救急法の実技2） ・実習8 文化活動 ・実習9 文化活動
2	期 日	令和元年10月13日（日）～14日（月）	
	会 場	新潟県少年自然の家	
	内 容	1 日 目	・研修1 ジュニア・リーダーの役割 ・研修2 安全啓発（子ども会KYT） ・研修3 文化活動（歌を覚えよう） ・研修4 文化活動（スタンプの活用） ・実習5 野外活動（キャンプファイヤー）
2 日 目		・研修6 野外でのレクリエーション活動 ・実技7 実践、野外でのレクリエーション活動 ・研修8 プログラムをつくろう ・研修9 プログラムをつくろう	
3	期 日	令和2年3月14日（土）	
	会 場	新潟県立こども自然王国	
	内 容	・研修1 ジュニア・リーダーの役割 ・研修2 レクリエーション活動の組み方 ・研修3 レクリエーション活動	

(5) JL派遣について

1) 全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会【新規事業】

- ① 期 日 2019年7月13日（土）～15日（月）
- ② 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）
- ③ 参加者 中学3年生・高校生（JLとして2年以上の経験を有する者）
JL中級研修会の参加経験者の中から3名以内
- ④ 経 費（参加者・引率者）
・参加費と交通費は、県子連負担とする。 ・宿泊費と食費は、自己（市子連）負担とする。
- ⑤ その他 募集案内が届き次第配布する。

2) 関プロ子ども会ジュニア・リーダー研修大会

- ① 期 日 2019年8月16日（金）～18日（日）
- ② 会 場 山梨県（八ヶ岳少年自然の家）
- ③ 参加者 県子連JL中級研修会に参加経験のある中・高校生、中学2年生以上の方
- ④ 経 費（参加者・引率者）
・参加費と交通費は、県子連負担とする。 ・宿泊費と食費は、自己（市子連）負担とする。
- ⑤ その他 募集案内が届き次第配布する。

(6) 県子連リーダーズクラブ集会（兼関プロJL報告会）

- ① 期 日 2019年8月25日（日）
- ② 会 場 柏崎市民プラザ
- ③ 経 費 参加費なし
- ④ その他
・7月の全国子ども会JL研修会の参加者、及び8月の関プロJL大会に参加した人は必ず当集会に参加する。
・県外研修に参加した人達から知識や技能を引き継ぐ会にする。
・県子連リーダーズクラブの代表・副代表を選出する。（組織の設立）
・JLの意義や役割、レクリエーションを実施する。（予定）
・今年度から「県子連リーダーズクラブ登録会員証」を発行する。

(7) 県子連だより発行について

号数	発行日	原稿依頼日	原稿提出の切日
129号	令和元年6月7日（金）	4月8日（月）	5月7日（火）
130号	令和元年11月29日（金）	7月12日（金）	10月11日（金）
131号	令和2年3月6日（金）	12月2日（月）	2月7日（金）

(8) 子ども会安全啓発初級指導者養成講習会

- 1 期 日 令和元年7月7日（日） 9:30～15:30
- 2 会 場 上越市民プラザ
- 3 講 師 武士俣昭司様（県子連顧問）
- 4 経 費 参加費は、無料とする。
- 5 その他 参加者の弁当は、県子連負担とする。

(9) 関プロ子ども会安全啓発中級指導者養成講習会

- 1 期 日 令和2年1月18日（土）～19日（日）
- 2 会 場 国立オリンピック記念総合センター
- 3 参加条件 県子連の安全啓発（KYT等）初級指導者研修会を受講済みの方
- 4 経 費
・参加費、宿泊費は、県子連負担とする。
・交通費は、5,000円を県子連で補助する。
- 5 その他 参加者は、中級指導者の認定条件を満たしていれば、中級認定書の申請を行うことができる。

平成30年度 決算報告書

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	29,095,704	31,062,913	△ 1,967,209
立替金	3,669	7,269	△ 3,600
流動資産合計	29,099,373	31,070,182	△ 1,970,809
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	0
資産合計	29,099,373	31,070,182	△ 1,970,809
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	72,208	72,157	51
預り金	10,088	24,250	△ 14,162
前受金	132,880	186,120	△ 53,240
賞与引当金	152,000	152,000	0
流動負債合計	367,176	434,527	△ 67,351
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	367,176	434,527	△ 67,351
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産			
(1) 代替基金			
(2) その他一般正味財産	28,732,197	30,635,655	△ 1,903,458
一般正味財産合計	28,732,197	30,635,655	△ 1,903,458
(うち基本財産への充当額)	0		0
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	28,732,197	30,635,655	△ 1,903,458
負債及び正味財産合計	29,099,373	31,070,182	△ 1,970,809

2019(令和元)年度 収支予算書

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	H30予算額	R元予算額	増減額	摘 要	
受 取 会 費	13,200,000	13,200,000	0	加入者数 60,000人×220円	
内 訳	安 全 共 済 掛 金	4,198,000	4,198,000		前期@70×59,800人 後期@60×200人
	県 子 連 会 費	6,000,000	6,000,000		年間一律 @100×60,000人
	県 子 連 運 営 費	3,095,900	3,095,900		前期@50×59,800人 後期@60×200人
安 全 教 育 助 成 費	600,000	600,000	0	全子連委託業務費用として @10×60,000人	
県 費 補 助 金	192,000	192,000	0		
繰 入 金	334,727	500,000	165,273	定期預金より	
雑 収 益	413	243	△ 170	預金利息	
繰 越 金	3,364,800	2,562,996	△ 801,804		
収 入 合 計	17,691,940	17,055,239	△ 636,701		

2. 支出の部

科 目	H30予算額	R元予算額	増減額	摘 要	
事 業 費	安 全 共 済 掛 金	4,198,000	4,198,000	0	前期@70×59,800人 後期@60×200人
	事 業 費	2,220,000	2,090,000	△ 130,000	総会 広報 JL中級 地区別活動費 等
	大 会 参 加 費 等	1,460,000	1,070,000	△ 390,000	関プロ地区協議会 全子連中央会議 等
	会 議 費	1,380,000	1,405,000	25,000	各部門会議 会長会議 三役会議 等
	支 払 負 担 金	162,000	162,000	0	全子連 関プロ 社教団体 等
	支 払 報 酬	230,000	210,000	△ 20,000	JL中級 KYT 講師謝金
	旅 費 交 通 費	50,000	50,000	0	講師旅費 安全教育指導者研 等
	管 理 諸 費	65,000	75,000	10,000	会費振込手数料 等
	印 刷 製 本 費	200,000	150,000	△ 50,000	加入申込書 手引き
	新 規 事 業 費	200,000	150,000	△ 50,000	JL交流事業 JL養成研修 等
予 備 費	63,340	36,415	△ 26,925		
運 営 費	給 与 手 当	3,110,000	3,110,000	0	事務局員2名
	従 業 員 賞 与	400,000	500,000	100,000	事務局員2名
	法 定 福 利 費	400,000	400,000	0	社会保険料(会社負担)
	福 利 厚 生 費	150,000	140,000	△ 10,000	事務局員2名
	旅 費 交 通 費	110,000	110,000	0	監査委員 会議 等
	リ ー ス 料	200,000	200,000	0	コピー機 パソコンリース
	貸 借 料	1,020,000	1,020,000	0	事務所家賃
	消 耗 品 費	300,000	240,000	△ 60,000	事務用品 等
	通 信 運 搬 費	360,000	360,000	0	市区町村への郵送 電話 インターネット
	光 熱 水 料 費	150,000	150,000	0	事務所光熱費
	諸 謝 金	30,000	30,000	0	下部団体お祝い金 慶弔費
	消 耗 什 器 備 品 費	60,000	50,000	△ 10,000	白布 穴開けパンチ
	管 理 諸 費	300,000	320,000	20,000	会計士顧問料、会計ソフト更新料、振込手数料
	印 刷 製 本 費	50,000	100,000	50,000	名刺 封筒 新年号賞状作成
	雑 費	15,000	15,000	0	町内会費 役員・事務局共済会加入
	租 税 公 課	1,000	0	△ 1,000	
積 立 金	200,000	90,000	△ 110,000		
予 備 費	607,600	623,824	16,224		
支 出 合 計	17,691,940	17,055,239	△ 636,701		

おめでとうございます

2019(令和元)年度 県子連被表彰者・団体名簿について

(敬称略)

1 育成者・指導者の部

No.	市区町村	氏名	活動歴	所属子ども会等
1	新発田市	八幡イウ	8年	新発田市子連
2	柏崎市	川上洋子	10年	かしわっ子クラブ

2 ジュニア・リーダーの部

No.	市区町村	氏名	活動歴	所属子ども会等
1	妙高市	寺島有希菜	5年	妙高市ジュニア・リーダーズクラブ
2	妙高市	草間栄美	5年	妙高市ジュニア・リーダーズクラブ
3	妙高市	鈴木佑奈	5年	妙高市ジュニア・リーダーズクラブ
4	板倉区	新井翔太	5年	板倉子ども会育成連絡協議会
5	板倉区	金子柊	5年	板倉子ども会育成連絡協議会
6	板倉区	古川諄	5年	板倉子ども会育成連絡協議会

3 団体・単位子ども会の部

No.	市区町村	団体名	活動歴	代表者氏名
1	長岡市	ジュニアリーダーズクラブ	27年	小川真美子
2	柏崎市	かしわっ子クラブ	10年	西川辰二

4 団体・育成組織の部

No.	市区町村	団体名	活動歴	代表者氏名
		該当なし		

5 全子連表彰(2018年度)

- (1) 期日 2019年2月23日(土)
全国子ども会育成中央会議・研究大会で受賞
- (2) 会場 石川県立音楽堂コンサートホール(金沢市)
- (3) 個人の部受賞者(20年以上継続して活動した人)

加藤清夫(新発田市)	表彰状
伊藤博(佐渡市)	表彰状

- (4) 団体の部受賞団体(10年以上継続して活動した団体)

比角地区子ども育成会(柏崎市)	表彰状
-----------------	-----



ますますのご活躍を!!

その事業を計画する市子連の先輩たち、苦勞も苦とせず、むしろ、楽しみとして活動して居る姿に心を打たれながら一緒に参加し、その中に居る事が嬉しく幸せな時間でした。そんな中で、私が思うことは、この活動にもっと多くの子ども達が参加し、家庭ではなかなか出来ない、経験や体験をしてみたい、と感じて居ります。子ども達の工夫、意欲、仲間づくりの経験は、ずっと宝物となり、心と体について行くものと思います。これからも一緒に楽しい時間を過ごせたら良いと思います。



思い

新発田市子ども会連合会
八幡イウ

この度は、県子連表彰を頂き、ありがとうございました。表彰者を代表し、お礼のご挨拶を申し上げます。市子連の仲間に入れてもらっている経験し、子ども達と一緒に楽しませてもらうことができました。

加賀市の子と連との交流会では川で、魚のつかみ捕り、捕った魚をくし刺しにして焼き、焼きたてをいただく魚の美味しさ。時々、行事参加の「大工のゲンさん」では、自らの設計図を素に、くぎ、かなづちでイスやテーブル、飛行機等を製作し満足そうな顔と喜び。

2019(令和元)年度 県子連役員所属一覧表

顧問：武士俣昭司

	氏名	役職	選出地区	市町村	総務部	指導研修	広報部	安全部	
理事	1 瀧本晴夫		上越	上越市			◎		
	2 小関茂幸			柿崎区		○			
	3 藤田健男			頸城区		○			
	4 福崎幸一			板倉区	○				
	5 大坪寛			三和区				○	
	6 岡田政枝	副会長		妙高市				○	
専事	7 栴澤政晴		中越	長岡市		◎			
	8 小川真美子			長岡市	○				
	9 須田貴子	会長			柏崎市				
	10 駒形弘之				十日町市		○		
	11 田中正裕				見附市			○	
	12 佐藤栄作				三条市				◎
	13 蝶名林功				加茂市				○
	14 風間浩一	副会長			南魚沼市		○		
	15 濱田宏幸		下越	新潟市				○	
	16 日野浦律子			新潟市		○			
	17 桐生正栄			新発田市	◎				
	18 近藤正利	副会長			阿賀野市			○	
	19 石塚猛			佐渡	佐渡市	○			

◎は部長

	氏名	市区町村
監事	1 滝澤麻樹子	柿崎区
	2 加藤清夫	新発田市

	氏名	市区町村
編集委員	1 五十嵐孝夫	柏崎市
	2 河原森久	佐渡市

	氏名	市区町村
専門委員	1 ◎林 るみ子	妙高市
	2 西堀勉	長岡市
	3 真保栄	加茂市
	4 石黒功	柏崎市
	5 上野一美	頸城区

◎は委員長

	氏名	市区町村
リーダーズクラブ	1 岡田政枝	妙高市
	2	

	氏名	市区町村
事務局	1 板垣徳衛	新潟市
	2 平原しのぶ	新潟市

平成30年度 共済金給付状況

《医療・ケガ》

① 平成30年度 発生

受付No	性別	年齢	事故日	曜	行事名	場所	事故概要	傷病名	部位	通院	入院
1	女	45	H30. 4. 7	土	資源回収	川崎1丁目川崎橋の下	段差を踏み越えようと足を上げたがバランスを崩し転倒。	肉離れ	足	3	
2	男	44	H30. 7.28	土	豊詰祭り	諏訪神社	祭り終了後、自転車を片付け中に踏み転倒。額裂創、縫合。	創傷	顔	3	
3	男	7	H30. 7.22	日	みこし町内まわり	穂波町路上	みこし巡回中に体調不良。(耳下の腫れ、腹痛、嘔吐、脱水症状)	急性耳下腺炎	顔	1	
4	男	8	H30. 7.30	月	夏休み子供会行事	遊ボール	ボーリングボールを持ったまま誤って転倒。手の上にボールが落下。	骨折	手	4	
5	女	11	H30. 8.23	木	ラジオ体操	川崎小学校玄関前	体操の途中で吐き気を催し倒れた。	熱中症	全身	1	
6	男	9	H30. 8. 1	水	ラジオ体操	南魚沼市竹俣路上	終了後自転車で帰宅途中、運転を誤り転倒。	頭部亀裂(ひび)	頭	3	1
7	女	72	H30. 7.22	日	子どもの遊びのひろば	生涯学習センター	大工体験の子どものため、木材を探していたら下に敷いていたシートで滑り転倒。	肋骨骨折	胸	5	
8	男	5	H30. 7.28	土	子ども会夏行事	国営越後丘陵公園	遊具で転倒し右腕骨折。	骨折	腕	7	
9	女	8	H30.11.18	日	クリスマス会	アサヒアレックスアイスアリーナ	滑走中に転倒。	骨折	手	5	

② 平成29年度 発生

受付No	性別	年齢	事故日	曜	行事名	場所	事故概要	傷病名	部位	通院	入院
13	男	11	H29. 9.10	月	しんきんカップ学童野球大会	佐藤ヶ池第2球場	試合中、バッティングでバットを振った際、負傷し歩行困難となる。	腰椎分離症	腰	7	
14	男	43	H29. 9. 3	日	男女混合ソフトボール大会	名木野小学校	守備中、ランナーがホームへ突っ込んだ際に、荷重が指にかかり過ぎ靭帯損傷。	左母指MP関節尺側側副靭帯損傷	左手	13	2
15	女	44	H29.10. 1	月	秋の廃品回収	見附市学校町2丁目地内	停車中のダンプの荷台からジャンプし、着地と同時に転倒した。	剥離骨折・靭帯断絶	膝	18	9

《後遺障害》

受付No	性別	年齢	事故日	曜	行事名	場所	事故概要	傷病名	部位	通院	入院
1	男	44	H30. 7.28	土	豊詰祭り	諏訪神社	祭り終了後、自転車を片付け中に踏み転倒。額裂創、縫合。	前頭部挫創(9級-16号)	顔	3	

《賠償責任保険》

※ 平成30年度 発生 0件

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 E-Mail n-kodomo@sage.ocn.ne.jp

編集発行 一般社団法人
新潟県子ども会育成連合会
〒九五一―八―三三
新潟市中央区白山浦一―三〇〇
電話 〇二五―三〇―五二九八
FAX 〇二五―三〇―五二九二

○原稿を執筆していただきました皆様に御礼申し上げます。
(文責：板垣)

互いに学び合ひましょう。

○来年度に実施される関プロ新潟大会が近づいてまいりました。七月二十日の第三回実行委員会では、分科会リハーサルとしてKJ法による話し合いが予定されています。

参加者のご協力により会議の時間短縮を図ることができました。

○今年の県子連総会は五月十九日(日)に阿賀野市水原公民館で開催されました。

